

道徳指導展開案（略案）

江刺市立岩谷堂小学校 千葉正司

- 1 日時 平成16年9月15日（水）3校時
- 2 対象 江刺市立岩谷堂小学校 第3学年 1学級（男18名 女17名 計35名）
- 3 主題名 家ぞくの一いんとして 「4-（3）家族愛」
- 4 資料名 大きなテーブル（出典 みんなのどうとく3年 学研）
- 5 ねらい 家ぞくの一いんとして、明るく楽しい家庭をつくろうとする。
- 6 展開案

段階	活動のねらい	学習活動	指導上の留意点
指導に先立って	4人家族がパン作りをするホームビデオを見せ家族に対する各自の思いをふくらませる。 日常の体験や、そこで自分や自分以外の人を感じたことについて、目を向けさせる。	・パン作りのビデオを見る。 ・「ほっとカード」に、自分や自分以外の人を感じたことについて、記録する。	・「家族愛」にかかわって、児童がどんな意識をもっているか、つかむ。
<p>ほっとカード 設問1 家の人に、何かをして喜ばれたことがありますか。みなさんのことを、教えて下さい。その時、どんな気持ちになりましたか。</p> <p>設問2 おうちの人で、家族のためにがんばっている人はだれですか。どんなことをがんばっていますか。それを見て、どう感じましたか。</p>			



段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 3分	1、本時の学習に興味・関心をもち。 家の人に、何かをして喜ばれたことがありますか。 【意図的指名】 マッサージってどうやるのですか。	・ペンキ塗りを手伝った。茶碗洗いを手伝った。 ・マッサージをして、褒められた。 ・動作化 ・私もやったことがあるよ。 ・ぼくは、こんなふうにお父さんにやってあげているよ。	・家族の中での自分の行動を想起させ、家族との関係を意識させる。 ・一人の日常をクラスに広めることで、体験の想起・共有・共感を促す。
展開前段 15分	2、資料「大きなテーブル」を読んで、「わたし」の気持ちについて話し合う。 お父さんやお兄ちゃんから、帰宅が遅くなるとの電話があり、先に夕ご飯を食べ始めた「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。 どうして、食べ始めたのにおいしくないんだろう。	・ショックだ。さびしいなあ。一人で食べるの嫌だから、待ってしようかな。 ・やった。自分のペースで食べられる。さびしくない。 ・わいわいしゃべって食べるのがおいしいのに、みんながいないから。	・資料は場面で切って朗読する。同時に、挿絵の拡大コピーと「わたし」の家族に対する思い・状況理解を促す紙板書を黒板に貼り、発問する。 ・「わたし」に対する児童の意識の類型化を図る。
展開後段 22分	3、役割演技をし、ねらいとする道徳的価値に対する多様な価値観にふれる。 また道徳的価値を自分との結び付きでとらえる。 資料の本文「やっといつもの夕食が始まりました」のところから主人公の気持ちを考え、グループで話し合っ、役割演技を試みましょう。	【吹き出しにわたしの気持ちを書く】 ・みんなそろって、うれしい。	・役割演技をする際のグループは、生活班とする。 ・一人で食べているときの表情をさせたり、吹き出しにせりふを書くことで、演技に入りやすくさせる。

	<p>【グループでの役割演技】</p> <p>【演じる時の観点】 「わたし」になり切って、その時の気持ちやせりふを考えながら</p> <p>【観る時の観点】 もし自分だったら、どう演じるか考えながら</p> <p>他のみんなもそういう経験はありますか。</p> <p>お互い演じ合ってみて感じたことを、話し合みましょう。</p> <p>【話し合いを深める際の代表の役割演技】 【意図的指名】 その時の気持ちを表して見せてください。</p> <p>お兄ちゃんのことが出てきましたね。</p> <p>みんななら、ここでどんな話がしたいですか。</p> <p>4、家族の大切さについて話し合う。 みなさん、家族がいてよかったなあと思った経験は、ありませんか。</p> <p>同じように怪我や病気になった時、家族がいて良かったという思いをした人はいますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった。みんなそろっていつものように楽しく食べられる。 ・学校での面白かったことを話そう。 ・味が変わったぞ。うまい。 <p>ある。ふうちゃんと同じようなことがあったよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で食べていたときは、しょんぼりした感じで、四人そろったら笑顔だ。 ・表情がぱっと変わる。 ・わたしは家族が大好きなんだな <p>語り手（教師）やっといつもの夕食が始まりました。</p> <p>わたし「みんなで食べるとやっぱりうまい。お兄ちゃん部活で、どんなことがあったの聞かせて。」</p> <p>と感じていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い時間、部活をがんばってきたから気になる。いっぱい話をしたい気分。 ・お父さん、今度の休みいつ。やった。帰ってきて良かった。 <ul style="list-style-type: none"> ・家に帰ったとき、「お帰り。」と迎えてくれた時。 ・発熱した時、看病してくれた。その時、家族がいて良かったし、うれしかった。 ・足を怪我した時、毎日学校に送ってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技に先立ち、観点を示す。 ・登場人物に自我関与し心の中を声に出して演技を行わせる。 <p>教師は機会をとらえて横から補助的発問をしたり助言したりすることにより、より深く考えさせる。</p> <p>自分の家族のことを想起し、今までの自分を見つめさせる。</p> <p>一人の日常をクラスに広めることで、体験の共有・共感を促す。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5、本時のまとめをさせる。今日の学習を振り返って、「ほっとカード」に感想をまとめましょう。</p> <p>【意図的指名】 Aさんの、おうちの人のメッセージを紹介します。心のノートの74～76ページを開いてみましょう。みんなも、おうちの人のメッセージを振り返って読んでみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族っていいものだなあ。 ・今、思い出したけど、風邪を引いた時、すぐ病院に連れて行ってくれた。すぐ風邪が治るような気がした。 <p>～心のノートから～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お姉ちゃんだと思って父さんも母さんも厳しいことを言うけど、みんなAの事を大切に思っているんです。Aと弟が、笑っている顔を見て、「明日もがんばるぞ」って元気になれるんだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の今までの家族に対する接し方や考え方を振り返り、「家族の役に立とう」「家族を支える人になろう」という心構えがもてるようにする。